

平成23年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	港湾整備事業支援統合情報システム(港湾CALS)等の移設		担当部局	国土技術政策総合研究所(横須賀庁舎)		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	H24		担当課室	企画調整課		課長 箕作 幸治		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国土交通省が所管する国土技術政策の企画立案と密接な関係のある総合的な調査、研究開発に必要な施設について、海に面した現在の庁舎が津波で被災した場合でも業務が継続出来るように体制の強化を図る。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	津波によって被災すれば全国の港湾・空港整備事業の円滑な執行に支障を生じる各種サーバーから構成されている港湾整備事業支援統合情報システム(港湾CALS等)を設置している電算室を内陸部の研究所敷地(標高6~7m)に移設する。							
実施方法	直接実施	業務委託等	補助	貸付	その他			
予算額・執行額(単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	-	-	-	-	138	
		補正予算	-	-	-	-		
		繰越し等	-	-	-	-		
		計	-	-	-	-	138	
	執行額	-	-	-	-			
執行率(%)	-	-	-	-				
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	-		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	-		活動実績(当初見込み)				() ()	
単位当たりコスト	(円 /)		算出根拠	-				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費	-	0					
	施設施工庁費	-	0					
	施設整備費	-	138					
計	-	138						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況		広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
		国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	-	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	-	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	-	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	-	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・支出先となる工事請負業者の決定については、原則として一般競争入札により決定しているところではあるが、入札情報の幅広い周知等、競争性の確保に努めるものである。</p> <p>・業務発注を計画するにあたっては必要性・優先度の精査を厳しく行った上で、限られた予算の中で実施箇所を更に検討するなど、より一層の効率化に努めるものとする。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
	-	国民生活の安全・安心の確保の観点から優先度の高い事業であり、効果的な施策として効率的に執行できるよう努めるべき。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			